

## 平成18年度 事務事業評価表

所属 05120000

地域振興部 産業経済課

事務事業	155005 かつしか観光プラン策定事業					
	事業区分	経常事業	施策体系	1550	観光のまちづくり	
区分	評価者	所管課長	存廃判断	可	NPO協働	可
	***		***		***	
対象	区内企業者及び商店街					
事務事業意図	観光資源の活用により、来外者が増加し地域が賑わい活性化している。					
事務事業手段	「平成17年度開始」学識経験者・観光関係者・関係機関などで構成する「プラン策定検討委員会」を設置し、検討を行いプランを作成する。					
根拠法令	なし					
現状と課題	区内観光地には多くの区民や観光客が訪れているが、年々減少傾向にある。葛飾区にしかないもの、葛飾区だからできるものに焦点をあて、複数の地域資源を結びつけ観光資源にまで高めて行く必要がある。また、地域の賑わいや活性化のために、これらの資源をもっとも良く知る区民の力を借り、観光資源化することが重要である。					
成果・活動指標	成果：かつしか観光プランの策定 目標：平成18年度までにプランの策定 活動：かつしかの魅力プロデュース会議等開催数 目標：平成18年度までに10回					
目標達成状況	成果指標1 [ 回 ]	予定				
		実績	0.00			
	成果指標2 [ ]	予定				
		実績				
	活動指標1 [ 回 ]	予定	4.00	10.00		
		実績	4.00			
		単位コスト	1,776.00			
	活動指標2 [ ]	予定				
		実績				
		単位コスト				
トータルコスト (千円)	予定		13,505			
	実績	7,104				
総合評価	継続。かつしかの魅力プロデュース会議と3つのワーキンググループによる会議をそれぞれ1回ずつ実施するとともに、プラン策定のための基礎調査を行い、葛飾区における観光の実態と課題を整理した。					
事業評価	事業の必要性	はい。本プランは、観光振興による賑いを創出するための指針となるものであり、策定は必要である。				
	民間活用	実施済。学識経験者・観光事業者・観光協会・産業関係者・観光専門機関職員等で構成する「かつしかの魅力プロデュース会議」と民間の策定支援業者のノウハウを活用しながら、プランの策定を進めている。				
	成果向上余地	どちらとも言えない。かつしかの魅力プロデュース会議と3つのワーキンググループ会議をそれぞれ1回行ったところであり、本格的な策定検討は今後の会議内容によるところである。				
	経費削減余地	あまりない。事業費の大半は会議委員の報償費であるため、コスト削減は難しい。				

# コスト分析表

年 度 平成18年度

所 属 05120000

事務事業 155005

地域振興部 産業経済課

かつしか観光プラン策定事業

事業期間 平成17年度 ~ 平成18年度

(単位：千円)

		NO	平成17年度	平成18年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		0		
		都道府県支出金	(2)		0		
		地方債	(3)		0		
		その他	(4)		0		
		一般財源	(5)		12,965		
	直接費	事業費	(6)		7,745		
	職員人件費	人件費	(7)		5,220		
		再雇用職員分	(8)		0		
		(職員数:賦課)	(9)		0.60		
		(職員数:配賦)	(10)				
		職員数合計(9)+(10)	(11)		0.60		
	調整額	間接費	(12)		0		
		(加算)減価償却費	(13)		0		
		(加算)金利	(14)		0		
		(加算)退職給与引当	(15)		540		
		(控除)コスト対象外	(16)		0		
		(控除)雑収入	(17)		0		
	調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)		(18)		540		
	トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)		(19)		13,505		
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	0			
		都道府県支出金	(21)	0			
		地方債	(22)	0			
		その他	(23)	0			
		一般財源	(24)	6,888			
	直接費	事業費	(25)	4,896			
	職員人件費	人件費	(26)	1,992			
		再雇用職員分	(27)	0			
		(職員数:賦課)	(28)	0.24			
		(職員数:配賦)	(29)				
		職員数合計(28)+(29)	(30)	0.24			
	調整額	間接費	(31)	0			
		(加算)減価償却費	(32)	0			
		(加算)金利	(33)	0			
		(加算)退職給与引当	(34)	216			
		(控除)コスト対象外	(35)	0			
		(控除)雑収入	(36)	0			
	調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)		(37)	216			
	トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)		(38)	7,104			

平成18年度 事務事業評価表

所属 21900000  
都市整備部 公園維持課

事務事業	155003 和楽亭管理運営						
	事業区分	経常事業	施策体系	1550	観光のまちづくり		
区分	評価者	所管課長	存廃判断	可	NPO協働	否	
	***		***		***		
対象	新小岩公園利用者、区民全般						
事務事業意図	趣き豊かな日本庭園を配した閑静な環境の中、地域に根ざした活動の拠点及び区民の文化・コミュニティー活動の場として、利用者の様々な活動や会合が行なわれている。						
事務事業手段	(事業開始 昭和62年度)使用申請については、利用月の3ヶ月前の第1営業日から使用日までの間に、和楽亭に電話で申し込みをし、使用料は使用日当日支払う。食事の提供を受けたい利用者は、使用する施設の受託業者に直接申し込みをする。 施設規模 延べ床面積 481.34㎡ (10畳1室、12.5畳2室) 利用時間 昼間 午前9:00~午後4:30 夜間 午後5:30~午後9:00 利用料金 10畳間 1時間につき(昼間)400円 (夜間)1900円 12.5畳 同上 (昼間)480円 (夜間)2200円						
根拠法令	葛飾区静観亭及び和楽亭の設置に関する条例 同条例施行規則						
現状と課題	開業当初は、料亭的な雰囲気や飲食料金の割安感などから区民の支持を受けていたが、近年は近隣に飲食店があることや利用者の高級志向が強まったことなどにより年々利用者は減少している。また、堀切菖蒲園のような付加価値をもたないことから利用率の改善は難しく、施設の再利用を検討する必要がある。						
成果・活動指標	成果 和楽亭利用率 (利用率 = 年間利用件数 / 年間利用可能室数 (部屋数 × 営業日 × 3) × 100) 活動 利用件数						
目標達成状況	成果指標1 [ % ]	予定	平成17年度	平成18年度			
		実績	15.00	13.00			
	成果指標2 [ ]	予定					
		実績					
	活動指標1 [ 件 ]	予定	391.00	360.00			
		実績	296.00				
		単位コスト	24.58				
	活動指標2 [ ]	予定					
		実績					
		単位コスト					
トータルコスト (千円)	予定		7,075				
	実績	7,276					
総合評価	廃止・休止 和楽亭施設有効利用検討委員会を設置して集会施設としての和楽亭の廃止を含めた施設のあり方の検討を行った。廃止後は、公園施設の管理許可の手続きを整え、園内の便益施設として、一般利用者に対して飲食サービスを引き続き提供していくことを検討する。						
事業評価	事業の必要性	いいえ 集会施設としての和楽亭の利用率はさらに低下しており、存続の必要性は低い。一方、公園利用者に対する喫茶や飲食を提供できる施設として存続する必要性がある。					
	民間活用	実施済 委託業者により飲食提供、清掃、日常管理業務委託などを行っている。					
	成果向上余地	いいえ 申請方法や利用時間の改善、区ホームページによる案内、料理献立の掲載等のPR強化を図ってきたが、利用率の改善には至っておらず、成果向上の余地は少ない。					
	経費削減余地	いいえ 集会施設として位置づけられた施設であり、現在も最低限の管理運営に努めていることから経費削減の余地は無い。					

# コスト分析表

年 度 平成18年度

所 属 21900000

事務事業 155003

都市整備部 公園維持課

和楽亭管理運営

事業期間 平成17年度 ~ 平成18年度

(単位：千円)

		NO	平成17年度	平成18年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		0		
		都道府県支出金	(2)		0		
		地方債	(3)		0		
		その他	(4)		2,444		
		一般財源	(5)		925		
	直接費	事業費	(6)		2,238		
	職員人件費	人件費	(7)		1,131		
		再雇用職員分	(8)		0		
		(職員数:賦課)	(9)		0.13		
		(職員数:配賦)	(10)				
		職員数合計(9)+(10)	(11)		0.13		
	調整額	間接費	(12)		0		
		(加算)減価償却費	(13)		3,589		
		(加算)金利	(14)		0		
		(加算)退職給与引当	(15)		117		
		(控除)コスト対象外	(16)		0		
		(控除)雑収入	(17)		0		
	調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)			3,706		
	トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)			7,075		
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	0			
		都道府県支出金	(21)	0			
		地方債	(22)	0			
		その他	(23)	2,452			
		一般財源	(24)	1,100			
	直接費	事業費	(25)	2,307			
	職員人件費	人件費	(26)	1,245			
		再雇用職員分	(27)	0			
		(職員数:賦課)	(28)	0.15			
		(職員数:配賦)	(29)				
		職員数合計(28)+(29)	(30)	0.15			
	調整額	間接費	(31)	0			
		(加算)減価償却費	(32)	3,589			
		(加算)金利	(33)	0			
		(加算)退職給与引当	(34)	135			
		(控除)コスト対象外	(35)	0			
		(控除)雑収入	(36)	0			
	調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)		3,724			
	トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)		7,276			

## 平成18年度 事務事業評価表

所属 21900000  
都市整備部 公園維持課

事務事業	155004 静観亭管理運営						
	事業区分	経常事業	施策体系	1550	観光のまちづくり		
区分	評価者	所管課長	存廃判断	可	NPO協働	可	
	***		***		***		
対象	堀切菖蒲園利用者及び区民全般						
事務事業意図	趣き豊かな日本庭園（花菖蒲）を配した閑静な環境の中、地域に根ざした活動の拠点及び区民の文化・コミュニティー活動の場として、利用者の様々な活動や会合が行なわれている。						
事務事業手段	<p>（事業開始 昭和48年度）使用申請については、利用月の3ヶ月前の第1営業日から使用日までの間に、静観亭に電話で申し込み、使用料は使用日当日に支払う。食事の提供を受けたい利用者は、使用する施設の受託業者に直接申し込みをする。</p> <p>施設規模 延べ床面積 403.96㎡（8畳2室、10畳2室、12.5畳1室）</p> <p>利用時間 昼間 午前9：00～午後4：30、夜間 午後5：30～午後9：00</p> <p>利用料金 8畳間 1時間につき（昼間）310円（夜間）1600円 10畳間 同上（昼間）400円（夜間）2200円等</p>						
根拠法令	葛飾区静観亭及び和楽亭の設置に関する条例 同条例施行規則						
現状と課題	開業当初は料亭的な雰囲気の良い施設として、料理の料金などにも割安感があり、区民の支持を得た。しかし、近年は近隣に飲食店があることや利用者の高級志向が強まったことなどにより年々利用者が減少しており、利用率向上の検討を行う必要がある。						
成果・活動指標	<p>成果 静観亭利用率（最終目標30%） （利用率＝年間利用件数/年間利用可能室数（部屋数×営業日×3）×100）</p> <p>活動 利用件数（最終目標1170件）</p>						
目標達成状況	成果指標1 [ % ]	予定	平成17年度	平成18年度			
		実績	27.00	27.00			
	成果指標2 [ ]	予定					
		実績	18.20				
	活動指標1 [ 件 ]	予定	1,067.00	1,067.00			
		実績	847.00				
		単位コスト	8.75				
	活動指標2 [ ]	予定					
		実績					
		単位コスト					
トータルコスト (千円)	予定		7,575				
	実績	7,410					
総合評価	改善 16年度に申込み方法や支払い方法を改善し利用者の利便性を高めている。堀切菖蒲園の知名度は高く、集客力もあることから、今後は食事やサービスの充実に重点をおき、区民に親しまれ、繰り返し利用されるような施設運営を行う必要がある。						
事業評価	事業の必要性	どちらともいえない 区民憩いの施設として歴史があり、特に花菖蒲の開花時などの利用者は多く、特色ある公園施設として必要性がある。一方で、飲食の提供については近隣飲食店と競合する部分であり、区が直接実施する必要性は低い。					
	民間活用	実施済 民間業者により飲食の提供、清掃、日常管理業務委託などを行っている。					
	成果向上余地	はい 申請方法や利用時間の改善、区ホームページによる案内、料理献立・写真の掲載等のPR強化を図ってきたが、利用率の改善には至っていない。今後は、献立や飲食料金、サービス内容、運営方法の見直しなどにより成果向上の余地がある。					
	経費削減余地	いいえ 集会施設として位置づけられた施設であり、現在も最低限の管理運営に努めていることからコストを下げる余地は無い。					

# コスト分析表

年 度 平成18年度

所 属 21900000

事務事業 155004

都市整備部 公園維持課

静観亭管理運営

事業期間 平成17年度 ~ 平成18年度

(単位：千円)

		NO	平成17年度	平成18年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		0		
		都道府県支出金	(2)		0		
		地方債	(3)		0		
		その他	(4)		2,384		
		一般財源	(5)		2,311		
	直接費	事業費	(6)		3,564		
	職員人件費	人件費	(7)		1,131		
		再雇用職員分	(8)		0		
		(職員数:賦課)	(9)		0.13		
		(職員数:配賦)	(10)				
		職員数合計(9)+(10)	(11)		0.13		
	調整額	間接費	(12)		0		
		(加算)減価償却費	(13)		2,763		
		(加算)金利	(14)		0		
		(加算)退職給与引当	(15)		117		
		(控除)コスト対象外	(16)		0		
		(控除)雑収入	(17)		0		
	調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)			2,880		
	トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)			7,575		
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	0			
		都道府県支出金	(21)	0			
		地方債	(22)	0			
		その他	(23)	2,383			
		一般財源	(24)	2,129			
	直接費	事業費	(25)	3,267			
	職員人件費	人件費	(26)	1,245			
		再雇用職員分	(27)	0			
		(職員数:賦課)	(28)	0.15			
		(職員数:配賦)	(29)				
		職員数合計(28)+(29)	(30)	0.15			
	調整額	間接費	(31)	0			
		(加算)減価償却費	(32)	2,763			
		(加算)金利	(33)	0			
		(加算)退職給与引当	(34)	135			
		(控除)コスト対象外	(35)	0			
		(控除)雑収入	(36)	0			
	調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)		2,898			
	トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)		7,410			